

福井県内水面総合センター産アユの釣獲状況について

福井県水産試験場 内水面総合センター 橋本 寛

【福井県における稚アユの放流】

福井県では、県内各河川に毎年 25～30 トンの稚アユが放流されている。令和 5 年の放流量は 28 トンで、琵琶湖産が最も多く 15 トン、福井県内水面総合センター産（以下「センター産」という。）は 3 トンで、全体の 11%である。琵琶湖産が多い理由は地理的好条件（近くて運びやすい）が大きく、その放流量は県内放流量の約 8 割を占めていた時期もあったが減少傾向にあり、近年では 5 割程度に留まっている（図 1）。

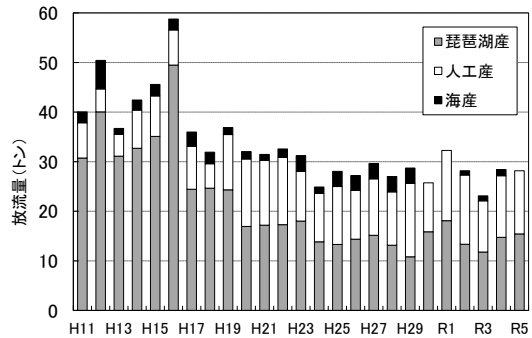


図 1 福井県における放流アユの由来

【センター産アユ種苗】

当センターでは、春先に足羽川（九頭竜川水系）で天然遡上アユを採捕し、親魚まで養成している。併せて放流用のセンター産種苗（F-1）も一部養成しており、天然魚の採捕や採卵が不安定であった場合には補完的に F-1 種苗からも採卵し、合計 1,600～2,000 万粒の卵を得て種苗生産を開始する。センター産種苗の一部は栽培漁業センターで飼育し、最終的には 2～3 月に中間育成用（0.5～0.6g/尾、100～120 万尾）として 2 漁協に、4～5 月に直接放流用（6～8g/尾、40～90 万尾；3～4 トン）として 13 漁協に出荷する。

継代は一代までであり、出荷する種苗はすべて F-1 種苗または F-2 種苗である。

【釣獲試験を実施した経緯】

センター産アユ種苗は、F-1 と F-2 の評価（要望）が分かれる傾向にある。平成 23～24 年の試験では F-1 種苗のほうが F-2 種苗よりよく釣れるという結果が出ており、これを受けて県内では「放流用種苗は F-1 が最適（一部の漁協は「F-1 しか買わない）」という「F-1 伝説」が根強く残っている。

試験から約 10 年が経過した令和 4 年、この伝説に疑問を持った漁協長から、「天然遡上もなく放流もしていない漁場があるので、もう一度試験をしたらどうか」という提案があった。「センター産種苗が本当に釣れるかどうかもわかるし」という追加コメントもいただき、期待と緊張の中、令和 4 年は F-1 種苗（F-2 種苗は生産せず）のみを放流、令和 5 年は F-1 と F-2 を生産していたため両系統を放流して試験を実施することとなった（表 1）。

表 1 供試魚および放流日

年	放流種苗	放流量	平均体重	平均全長	放流日	備考
R4	F-1 (天然♀×天然♂)	100kg	13.0g (10.3～15.7)	11.5cm (10.5～12.2)	R4.5.31	
R5	F-1 (天然♀×天然♂)	55kg	9.0g (6.8～14.3)	10.2cm (9.2～12.3)	R5.6.6	F-2種苗は 脂鰭を切除
	F-2 (F-1♀×F-1♂)	45kg	9.2g (5.8～13.9)	10.2cm (9.0～11.8)		

【試験の方法】

放流から概ね一か月毎に釣獲試験を実施し、釣られたアユの由来を判別するとともに、全長や体重を測定し、成長状況を確認した。

【試験の結果】

- ・センター産アユ種苗は友釣りで釣れるサイズに成長しており、出水があったが流されずに生き残っていた（表 2、図 2、図 3）。
- ・両年を比較すると、最終的には令和 5 年のほうが大きく成長した（図 4）。
- ・F-1 と F-2 の間には、釣獲尾数や大きさ、成長などに大きな差はなかった（図 5）。
- ・釣獲試験に参加した漁協関係者からは、釣獲尾数も成長も合格点を得た。
- ・未利用の漁場に種苗を放流することにより、新しい漁場を作り出せる可能性のあることが示唆された。

表 2 釣獲状況と由来

年	釣獲試験日	放流後	漁法	採捕尾数	CPUE※	サンプル数	由来(尾数)
R4	R4.7.1	31日	友釣り	22	1.57	22	海産系人工産(22)
	R4.8.3	64日	友釣り	20+α	—	19	海産系人工産(19)
	R4.9.16	108日	網	67	—	22	海産系人工産(20) 琵琶湖産?(2)
R5	R5.7.18	42日	友釣り	14	0.93	14	海産系人工産(14)
	R5.8.21	76日	友釣り	10	0.59	10	海産系人工産(10)
	R5.9.14	100日	友釣り	35	2.33	34	海産系人工産(33) 琵琶湖産?(1)

※1人1時間あたりの釣獲尾数(尾/人/時間)

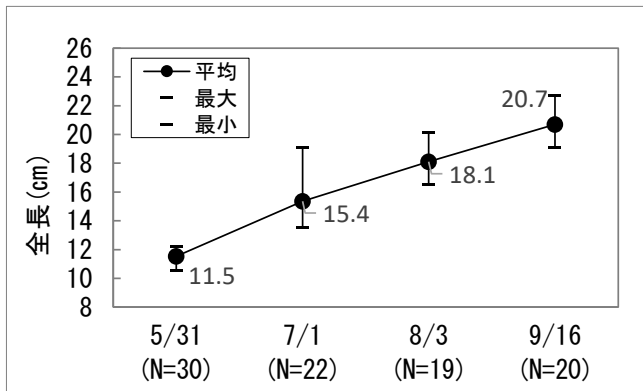


図 2 センター産種苗の成長 (R4)

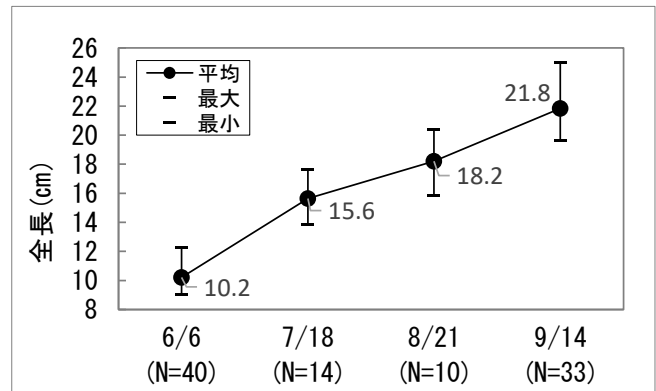


図 3 センター産種苗の成長 (R5)

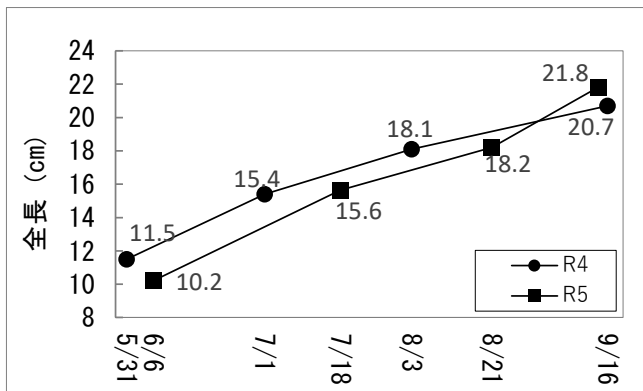


図 4 両年の比較

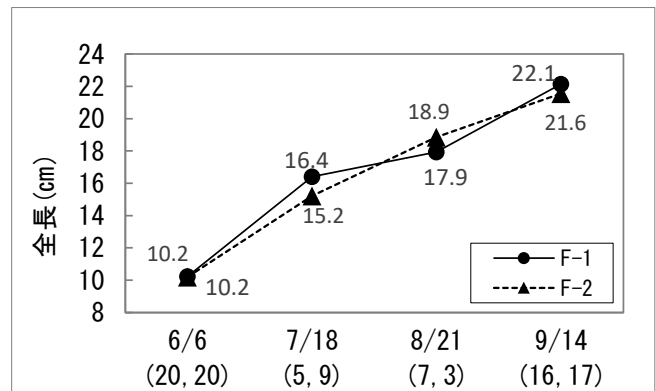


図 5 F-1 と F-2 の比較 (R5)

(横軸カッコ内は F-1, F-2 の個体数)